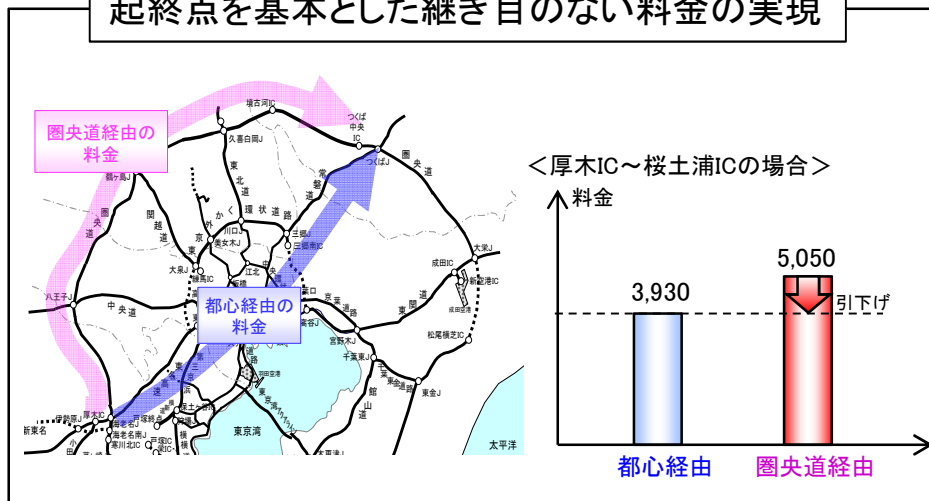


首都圏の新たな高速道路料金導入後の交通状況

資料5

- 平成28年4月より、首都圏の交通流動を最適化することを目指し、起終点を基本とした継ぎ目のない料金など新たな高速道路料金を導入
- 新たな料金の導入により、都心通過から外側の環状道路に交通が転換するとともに圏央道の利用が促進

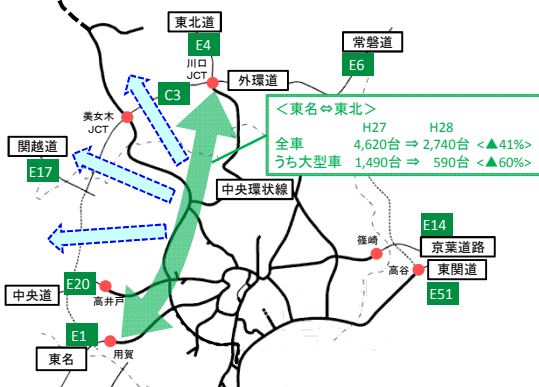
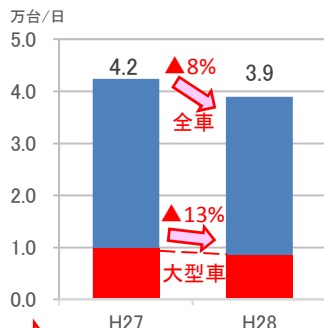
起終点を基本とした継ぎ目のない料金の実現



都心通過の状況

都心通過から外側の環状道路に交通が転換

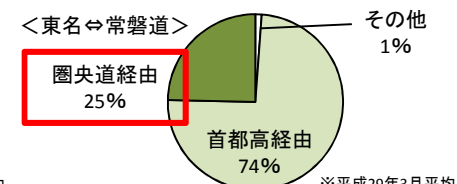
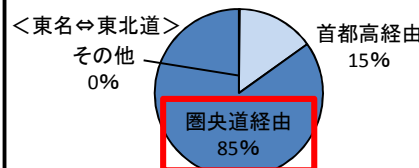
○都心通過の交通量



- 都心通過交通は約1割減(42,000台/日⇒39,000台/日)
- 特に、大型車の減少率が高く、都心の交通環境の改善に寄与

圏央道の交通状況

圏央道を賢く利用



例) 厚木IC⇄久喜IC

	首都高経由	圏央道経由
距離	99.5km	98.9km
時間	112.8分	90.6分
料金	3,180円	3,770円
	↓	↓
	3,550円	3,260円

新たな料金の設定

※ETC普通車料金(昼間)

例) 厚木IC⇄桜土浦IC

	首都高経由	圏央道経由
距離	114.0km	154.0km
時間	127.1分	148.8分
料金	3,560円	5,050円*
	↓	↓
	3,930円	3,930円

同一発着同一料金の設定

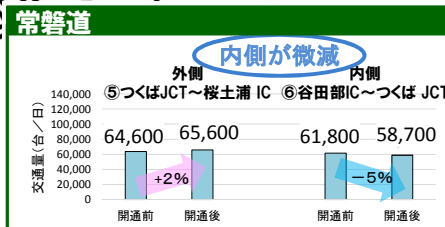
※新たな料金による設定

- 東名～東北道間は8割以上が圏央道の利用を選択
- 東名～常磐道間は距離・時間の違いから圏央道利用は約2割

圏央道(境古河~つくば中央)開通後の交通状況

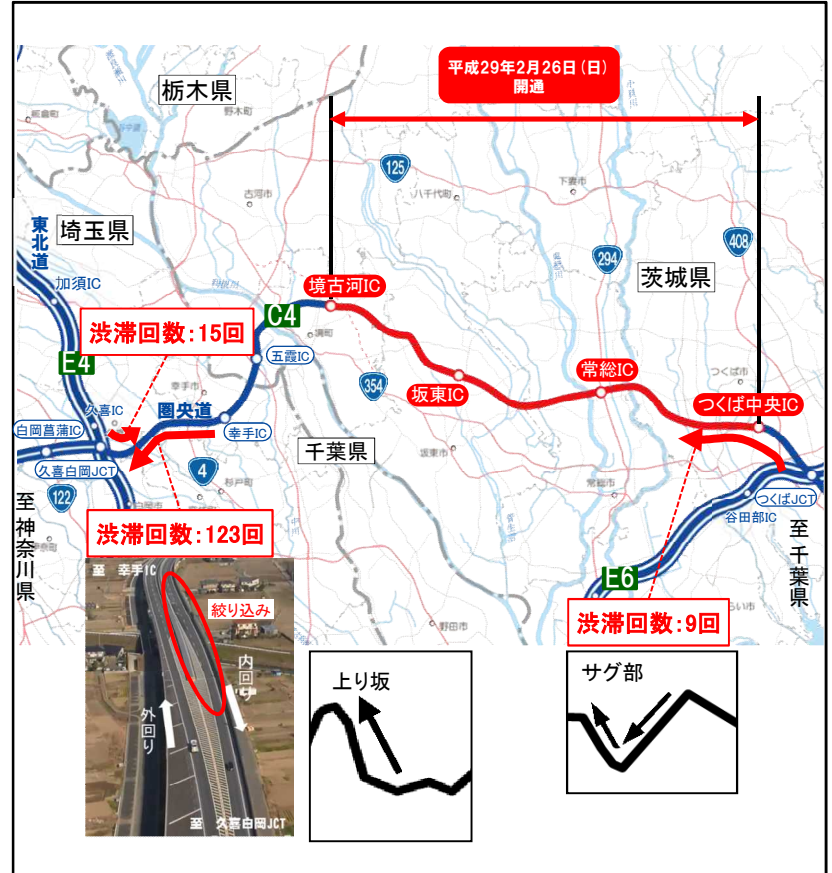
- 圏央道の平成29年2月に開通した区間の交通量は、平均17,000台/日(境古河IC~坂東IC間)
- 開通した区間の隣接区間でも交通量が大幅に増加し、2車線区間では、渋滞が発生

交通状況



出典: NEXCOデータ
 開通前: 平成28年4月1日(金)~10月31日(月)(GW4月25日~5月8日、お盆8月11日~16日除く)の日交通量の平均値
 (②久喜白岡JCT~幸手ICについては、平成28年5月29日~30日データ欠損のため除外)
 (④牛久阿見IC~阿見東ICについては、平成28年6月1日~10月31日データ欠損のため除外)
 開通後: 平成29年4月1日(土)~10月31日(火)(GW4月24日~5月7日、お盆8月10日~15日除く)の日交通量の平均値
 (①青梅IC~入間ICについては、平成29年5月31日~6月23日データ欠損のため除外)
 (⑤つくばJCT~桜土浦ICについては、平成29年5月24日~9月29日データ欠損のため除外)

渋滞状況



※ 渋滞回数の定義: 時速35km以下で低速走行あるいは停止発進を繰り返す車列が1km以上かつ15分以上継続した状態における回数(速報値)
 対象期間: H29.2.27~H29.10.31
 ※ 統計処理上の渋滞定義であるため、渋滞情報の提供状況とは異なる場合があります